



ふれあい 放水路

1998
(平成10年)
第55号
10月



湊原散策

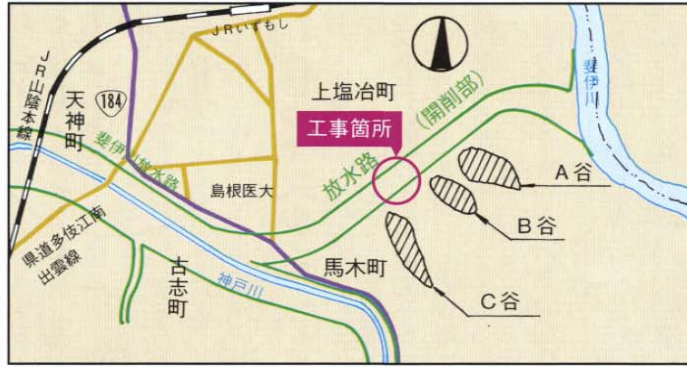
稲佐の浜からつづく海岸や松林、神戸川など豊かな自然に囲まれた大社町湊原地区は、自然を活かし、学び、親しめる「ふれあいの里」として整備され、地域の方に活用されています。

その一つとして神戸川河口近くの高台につくられた野鳥観察小屋兼展望台は、北に日御碕、南に三瓶山を望むことができる絶好の場所で、河口にやってくる渡り鳥をここから観察することができます。

神戸川河口付近は、シロチドリやシギの仲間が見られ、十一月から三月にかけてはカモの仲間がたくさん渡来し、時には優雅に泳ぐオオハクチョウも見ることができま。また、海岸へ降りてみると、湊原の砂浜は変化に富んでいるため、たくさんの動植物が生息しており、ハマエンドウやハマボウフウなど海浜植物も多く見られます。

これから自然散策にいい季節。自然とのふれあいにちよつと出かけてみませんか。

位置図



どんどん進む 開削部の掘削

放水路開削部では、右岸の管理用道路部分と掘削土を運搬するための工事用道路部分をB谷（狐廻谷）から下流に向けて掘り進んでいます。（管理用道路は、左岸に計画されている農道が完成するまでの間、暫定的に一般車両が通行できます。）

今回の工事では、約22万^m（10t ダンプトラックで約4万台分）の土砂を掘削することにしており、工事現場では大型バックホウや大型ブルドーザーによる掘削や、大型ダンプトラックによる土砂運搬の作業が続けられています。また、掘削した土砂は受け入れ態勢が整ったB谷グリーンステップ（残土処理場）へ運搬します。

現在行っている工事が完了すると、開削部のB谷とC谷（大井谷）が部分的につながります。



放水路見てある記

工事現場におじゃまします

大規模な掘削工事が進む上塩冶地区では、毎日、超大型機械が活躍しています。その中の大型バックホウを自在に操っているのは亀瀧 恵さん（24）。工事現場で働く彼女に話を聞いてみました。



—この仕事を始めて何年になりますか。

「今年で6年になります。」

—この仕事を選んだきっかけは何ですか。

「高校生の時、工事現場を見る機会があり、おもしろそうだなと思って。父がダンプトラックを運転していて、子供の頃よく現場に連れていってくれたので、その影響もあると思います。」

—“土木工事” と言えば男性の職場というかんじがしますが、その中に入っていくことは気になりませんでしたか。

「この仕事がやりたかったから全然気にしませんでした。今も女性は私一人ですが、かえってみなさんに気にかけてもらっているし、楽しくやっています。」

—やってよかったナと思う時はどんな時ですか。

「自分が掘削をして、1日1日現場の景色がかわって、工事が進んでいく姿を見る時です。」

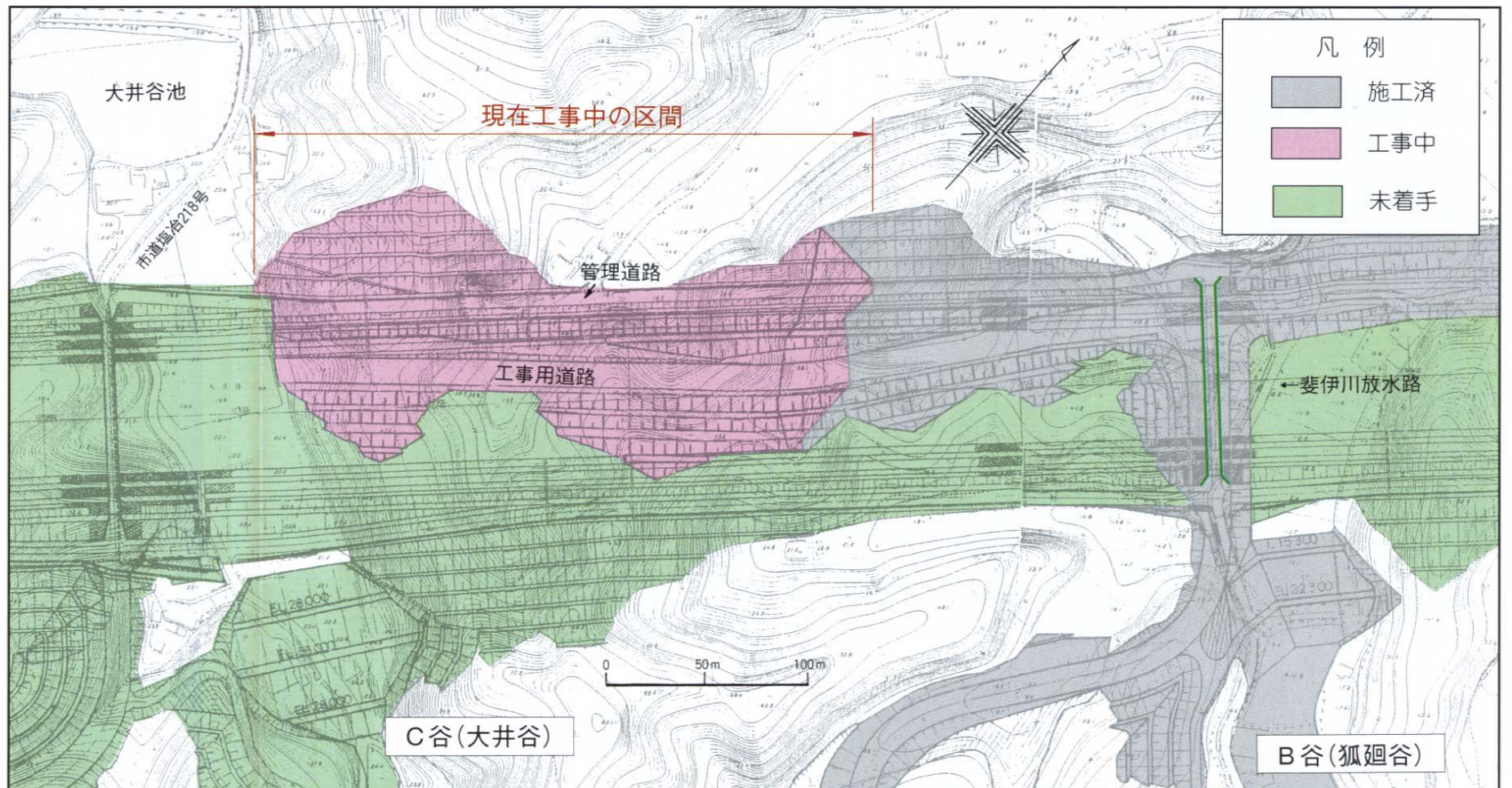
—今までで辛かったことはどんな事ですか。

「最初の1、2年は仕事に慣れるのが大変でした。それ以外は特にないですね。」

—放水路工事についてなにかひとこと。

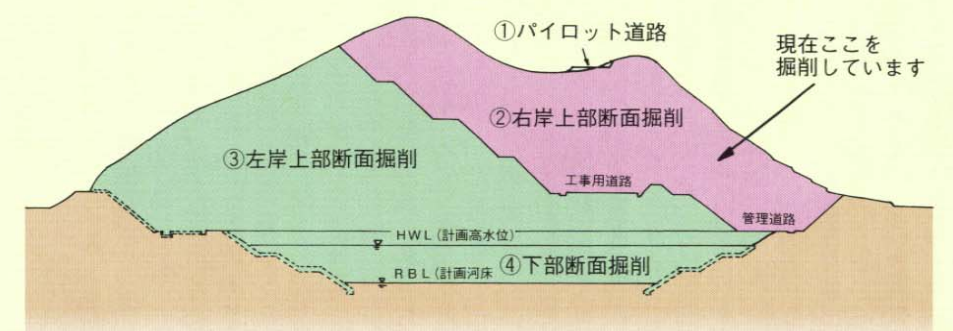
「注目されている現場に自分が携わっていることがうれしいです。やりがいがあります。」

工事現場は一步間違えば大事故につながることもあります。そんな緊張感のある現場の中で、「この仕事が好きです」という亀瀧さんがバックホウを操作する姿はとてもイキイキしていました。これからがんばってください。



開削部の施工順序

- ① 工事用の車両や資材・機械を運搬するパイロット道路をつくります。
- ② 工事用道路や将来の管理用道路ができる右岸側を掘削します。（右岸上部断面掘削）
- ③ 左岸側の堤防から上の部分を掘削します。（左岸上部断面掘削）
- ④ 堤防から下の河道部分（水が流れる部分）を掘削します。（下部断面掘削）



ふれあい
放水路
通信

「98夢フェスタ in いずも」に参加

十月十・十一日に出雲市中心商店街で行われた「98夢フェスタ in いずも」(主催：出雲商工会議所・出雲市商店連合会)に出雲工事事務所も参加し、放水路事業の紹介をしました。

また、商工会により大型タンポトラックが展示され、見慣れぬ大型特殊車にたくさんの方が集まり、運転席に乗ったり、記念撮影をする姿も見られました。



古志橋の桁架設が
はじまります

平成十年二月から工場で製作していた古志橋の桁(アーチ状の桁)が完成し、いよいよ現地での架設工事が始まります。

工事に先立ち、去る十月六日に安全祈願祭を行い、工事の無事を祈りました。



工事現場を見に来ませんか

土木の日(十一月十八日)にちなみ、「土木」の必要性を広く一般の方々に理解していただくため、斐伊川放水路事業と志津見ダム建設事業の見学会を行います。

と き 十一月十五日(日)九時～十六時(雨天決行)
 集合場所 建設省出雲工事事務所 九時

募集定員 三〇名

参加費 五〇〇円(弁当代ほか)

申し込み・問い合わせ 十一月五日(木)までに

建設省出雲工事事務所 調査設計課まで

☎ 0853 (21) 1850

斐伊川放水路の工事実施状況



(平成10年9月以降の発注工事)

工事名	業者名	工期
斐伊川放水路 神門堤防工事	出雲土建(株)	自至 H10年9月23日 H11年3月31日
斐伊川放水路 大島第2堤防工事	(株)中筋組	自至 H10年9月23日 H11年5月31日
斐伊川放水路古志橋 右岸側径間上部工事	日本橋梁(株)	自至 H10年9月23日 H11年9月30日
斐伊川放水路 開削部法面工事	サンヨー 緑化産業(株)	自至 H10年9月25日 H10年12月21日
斐伊川放水路 古志橋下部工事	村本建設(株)	自至 H10年9月25日 H11年6月30日
斐伊川放水路 半分大橋上部工事	オリエンタル 建設(株)	自至 H10年9月29日 H11年3月31日
放水路監督員詰所 設置工事	(株)トガノ建設	自至 H10年9月30日 H11年2月28日
斐伊川放水路 境島堤防工事	松江土建(株)	自至 H10年10月1日 H11年3月31日
斐伊川放水路 芦渡他堤脚基礎工事	大福工業(株)	自至 H10年10月1日 H11年3月31日
斐伊川放水路 C谷道路工事	(株)トガノ建設	自至 H10年10月1日 H11年3月31日
斐伊川放水路 妙見橋下部工事	今岡工業(株)	自至 H10年10月1日 H11年3月31日



建設省中国地方建設局
出雲工事事務所
〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などが
ございましたらお寄せください。
問い合わせ先：ふれあい放水路担当
放水路工事室 建設専門官